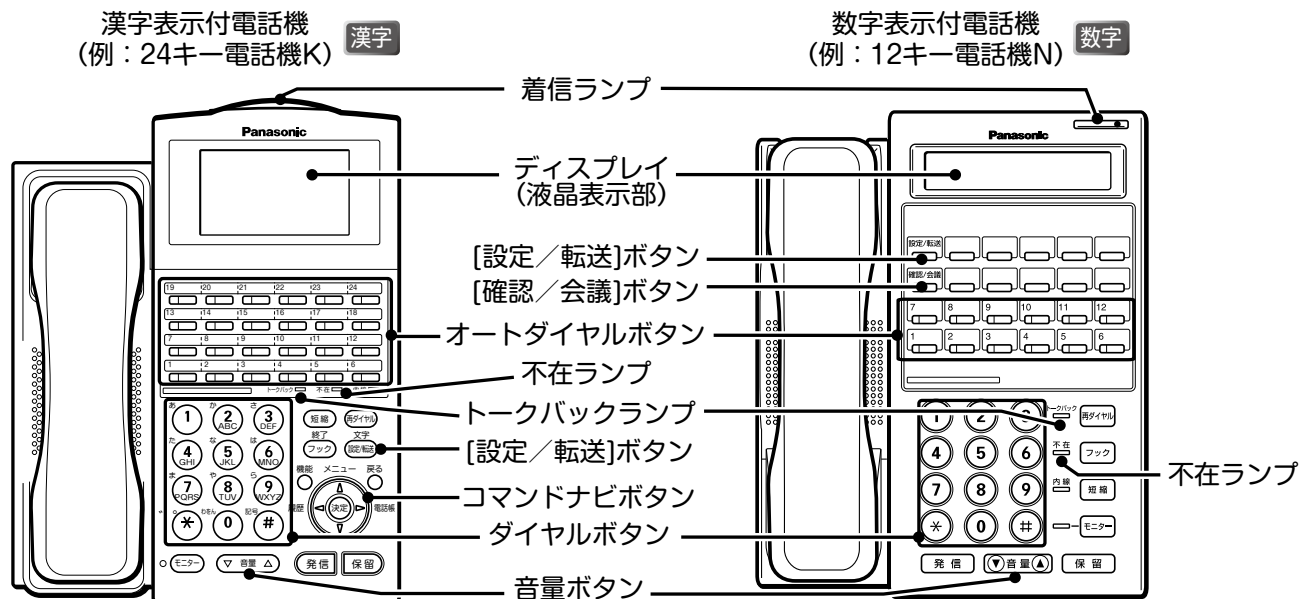


VB-F411KA・KB (漢字 12 ボタン) / VB-F611KA・KB (漢字 24 ボタン) / VB-F411NA (数字) / VB-F611KPA (停電用多機能電話機)



●詳しくは、取扱説明書をご覧ください。



※各操作は漢字表示付電話機のボタンの図で説明します。
























音量の調節		▼音量▲	▼ : 音が小さくなる	▲ : 音が大きくなる	漢字	数字
受話音量を調節する	通話中に [▼音量▲] で音量を調節できます。					
モニタ音量を調節する	モニター中にスピーカからの音量を または [▼音量▲] で調節できます。 待受中に調節するには モニター → [▼音量▲] → モニター					
着信音量を調節する	着信中に [▼音量▲] で音量を調節できます。 待受中に調節するには 機能 → ① → ① → [▼音量▲] → 決定 (漢字表示付電話機) 確認/会議 → ① → ① → [▼音量▲] (数字表示付電話機)					

ランプについて		漢字	数字
トークバックランプ	マイクがオン(トークバックがオン)のとき、赤色に点灯します。この設定により、内線音声呼出に対して受話器を取らずに応答できます。 マイク オン: 機能 → ② → ⑤ → ① → モニター マイク オフ: 機能 → ② → ⑤ → ② → モニター ● 数字表示付電話機では、機能 の代わりに を押します。		
不在ランプ	不在設定が有効のとき、赤色に点灯します。 不在転送を有効にする: 不在ランプが消灯している状態で (不在) を押したあと、で不在理由を選択する 不在転送を無効にする: 不在ランプが点灯している状態で (不在) を押す 不在設定が有効なときに内線から電話がかかってきた場合、相手の電話(漢字表示付電話機)のディスプレイに不在理由が表示されます。 ● (不在) はオートダイヤルボタンです。あらかじめ登録しておく必要があります。 ● 不在理由は、9種類(1: 外出中、2: 会議中、3: 来客中、4: 食事中、5: 出張中、6: 休暇中、7: 帰宅、8: 直帰、9: 直行直帰)の中から選択できます(初期設定の場合)。 で選択して 決定 を押すか、または ① ~ ⑨ のいずれかを押します。		

外 線		漢字	数字
電話をかける	受話器を取ってかける	 → 発信、《自動選局特番[]》、またはランプが消灯している <input type="text"/> (外線) → 電話番号 → <通話> → 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="text"/> (ワンタッチボタン)、<input type="text"/> (短縮)などを押して電話をかけることもできます。
	電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)	電話番号 → 発信、またはランプが消灯している <input type="text"/> (外線) → 相手の応答する音が聞こえたら  → <通話> → 	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号を間違えたときは <input type="text"/> (フック)を押すと一文字ずつ消すことができます。
	最後にかけた相手にかけ直す (リダイヤル)	 → <input type="text"/> (再ダイヤル) → <通話> → 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="text"/> (外線)を押してから <input type="text"/> (再ダイヤル)を押すと、回線を指定して電話することができます。
電話を受ける	<着信音> →  → 点滅している <input type="text"/> (外線) → <通話> → 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="text"/> (外線)は初期設定で割り付けられています。 オフフック外線自動応答が設定されている場合は、<input type="text"/> (外線)を押さなくても通話できます。 	
保 留	外線を一時的に保留する (一時保留)	保留するとき: <通話中> → <input type="text"/> (保留) → <保留状態> →  通話に戻るとき: <呼び返し>  → <通話>	
	他の電話機で取れないように保留する (自己保留)	保留するとき: <通話中> → <input type="text"/> (自己保留) →  通話に戻るとき: 点滅している <input type="text"/> (自己保留) →  → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="text"/> (自己保留)は初期設定で割り付けられています。保留した自分の電話機でのみ再応答できます。
	システムの中で取れるように保留する (システム保留)	保留するとき: <通話中> → <input type="text"/> (保留) →  通話に戻るとき: 点滅している <input type="text"/> (外線) →  → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> システム内の他の電話機から再応答できます。
	パークグループの中だけで取れるように保留する (パーク保留)	保留するとき: <通話中> → <input type="text"/> (パーク) →  通話に戻るとき: 保留に使用した <input type="text"/> (パーク) →  → <通話>	<ul style="list-style-type: none"> パークグループ内の他の電話機からも再応答できます。 <input type="text"/> (パーク)はあらかじめ登録しておく必要があります。 工事設定
転 送	口頭で取り次ぐ	転送する人: <通話中> → <input type="text"/> (保留) →  → 口頭で呼びかけて用件を伝える	転送を受ける人:  → 点滅している <input type="text"/> (外線)または <input type="text"/> (パーク) → <通話>
	転送先と通話してから転送する (ダイヤル転送)	転送する人: <通話中> → <input type="text"/> (保留) → 転送したい人の電話番号 → <通話> → <input type="text"/> (設定転送) → 	
	一斉・特定のグループを音声で呼び出して転送する	転送する人: <通話中> → <input type="text"/> (保留) → 《内線グループ音声呼出特番[]》 → 内線グループ番号 → 音声で呼び出す <内線通話> → (相手が応答した場合) → <input type="text"/> (設定転送) →  内線グループ番号: <input type="text"/> (0) <input type="text"/> (0) <input type="text"/> (0) ~ <input type="text"/> (1) <input type="text"/> (2) <input type="text"/> (7)	<ul style="list-style-type: none"> グループに所属する内線電話とグループ番号はあらかじめ登録しておきます。 工事設定 初期設定では、グループ番号000には、すべての内線電話が登録されています。
	転送を受ける人: <音声呼出> →  → 《内線グループ音声呼出応答特番[]》 → 内線グループ番号 (呼び出されているグループの番号) → <内線通話> → <input type="text"/> (設定転送) → 転送する人が → <通話>		

内線

漢字 数字

<p>電話をかける</p>	<p>内線呼び出す (内線トーン(信号)呼出)</p>	<p> → 内線番号 → <通話> → </p> <ul style="list-style-type: none"> 内線番号のあとに(*)を複数回押すたびに、音声での内線呼び出しと着信音での内線呼び出しを交互に切り替えることができます。 受話器を上げると自動的に外線に発信する設定(オフフック自動外線捕捉)を行っている場合、オフフックの前に[モニター]を押します。 [] (内線 DSS) にあらかじめ内線番号を割り付けておくとボタン1つで呼び出すことができます。
	<p>音声で呼び出す (内線音声呼出し)</p>	<p> → 内線番号 → (*) → 呼びかける → <通話> → </p> <ul style="list-style-type: none"> 内線番号のあとに(*)を複数回押すたびに、音声での内線呼び出しと着信音での内線呼び出しを交互に切り替えることができます。
	<p>内線番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)</p>	<p>内線番号 → [モニター] → 相手の応答する音が聞こえたら  → <通話> → </p> <ul style="list-style-type: none"> 電話番号を間違えたときは[フック]を押して削除してください。
	<p>最後にかけた相手にかけ直す (リダイヤル)</p>	<p> → [再ダイヤル] → <通話> → </p>
<p>電話を受ける</p>		<p><着信音または音声(着信ランプ点滅)> →  → <通話> → </p>
<p>保留</p>	<p>内線を一時的に保留する (一時保留)</p>	<p>保留するとき: <通話中> → [保留] → <保留状態> →  → <呼び返し> →  → <通話></p> <p>通話に戻るとき:</p>
	<p>他の電話機で取れないように保留する (自己保留)</p>	<p>保留するとき: <通話中> → [] (自己保留) → </p> <p>通話に戻るとき: 点滅している [] (自己保留) →  → <通話></p> <ul style="list-style-type: none"> [] (自己保留) は初期設定で割り付けられています。保留した自分の電話機でのみ再応答できます。
	<p>パークグループの中だけで取れるように保留する (パーク保留)</p>	<p>保留するとき: <通話中> → [] (パーク) → </p> <p>通話に戻るとき: 保留に使用した [] (パーク) →  → <通話></p> <ul style="list-style-type: none"> パークグループ内の他の電話機からも再応答できます。 [] (パーク) はあらかじめ登録しておく必要があります。 工事設定
<p>転送</p>	<p>口頭で取り次ぐ</p>	<p>転送する人: <通話中> → [保留] または [] (パーク) →  → 口頭で呼びかけて用件を伝える</p> <p>転送を受ける人:  → 点滅している [] (パーク) → <通話></p> <ul style="list-style-type: none"> [] (パーク) はあらかじめ登録しておく必要があります。 工事設定
	<p>転送先と通話してから転送する (ダイヤル転送)</p>	<p>転送する人: <通話中> → [保留] → 転送したい人の電話番号 → <通話> → [設定/転送] → </p>
<p>一斉・特定のグループを音声で呼び出す</p>	<p>呼び出す</p>	<p> → 《内線グループ音声呼出特番[]》 → 内線グループ番号 → 音声で呼び出す → <内線通話> (相手が応答した場合) → </p> <p>内線グループ番号: ①②③④⑤⑥⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> グループに所属する内線電話とグループ番号はあらかじめ登録しておきます。 工事設定 初期設定では、グループ番号 000 には、すべての内線電話が登録されています。
	<p>受ける (呼び出しに答える)</p>	<p> → 《内線グループ音声呼出応答特番[]》 → 内線グループ番号[] (呼び出されているグループの番号) → <内線通話> → </p>

液晶表示部について

漢字

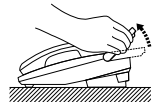
液晶表示部の角度、およびコントラストを調節することができます。数字表示付電話機では利用できません。

角度を調節する

液晶表示部の角度を任意の角度で調節できます。

LCD 濃度を調節する

待受中に を押す → ② → ② → または で調節する →



検索して電話をかける

漢字

サービスメニューを使う	1 待受状態で を押す	2 で [2:電話帳] を選び、 を押す	3 で [3:番号検索] を選び、 を押す	4 で [1:共通電話帳] を選び、 を押す
	5 で [2:カナ検索] を選び、 を押す	6 検索する名前のフリガナを入力して を押す	7 検索結果から で相手を選び、 を押す	8 で [1:発信] を選び、 を押したあと、
短縮ダイヤルを使う	1 のあと、 を押す	2 メモリ番号を入力する	3 かけたい相手が選択されていることを確認して、 を押す	
	<ul style="list-style-type: none"> 手順 4 で [2: 個別電話帳] を選択することもできます。 メモリ番号から検索する場合は、手順 5 で [1: XEJ No 検索] を選択したあと、登録されているメモリ番号を入力してください。 待受状態で を押すと手順 6 の《共通+加検索》画面が表示されます。フリガナは 1 ~ 5 文字で入力します。 		<ul style="list-style-type: none"> 複数の電話番号が登録されている場合は、1 つの電話番号を選択してから発信します。 	

- 特番をダイヤルする箇所には、[] 欄を設けていますので、実際にご使用になる特番をご記入ください。
- 特番については販売店にお問い合わせください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年	月	日	品番	
販 売 店 名				電話 ()	-
お 近 く の 販 売 会 社				電話 ()	-

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック システムネットワークス株式会社
システムソリューションズジャパンカンパニー

1420BH 173-1 D

4438079500